

科目名称	基礎看護実習Ⅱ（Ⅲも同様）	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		90
担当教員	香川暁美 川崎由希 村上あゆみ 上野理江 原田和恵	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】 概要

一人の患者を受け持ち、患者の身体的変化から日常生活の困難さや不自由さを理解し、その人を尊重した関わりについて考えながら、日常生活に伴う援助を実施する。そのプロセスを通して、対象者と看護者の援助的人間関係を形成する力を養い、看護職としての基本的態度を身につける。

【2】 学習目標

1. 医療施設の構造と機能について理解できる。
2. 対象の療養生活について理解できる。
3. 対象に必要な日常生活援助を原理・原則に基づいて実施できる。
4. 対象に行われている診療関連技術について理解できる。
5. 看護職としての役割と責任を理解し、主体的に学ぶことができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内 容	授業形態
実習前	1. 基礎看護実習Ⅱ・Ⅲの実習概要についてオリエンテーションを受ける。 2. 実習に必要な事前学習を行う。看護技術の総合演習を行い基礎看護技術の復習を行う。	学内オリエンテーション 校内実習
実習 1 週目	1. 病院・病棟オリエンテーションを受ける。 2. 受け持ち患者や家族とのコミュニケーションや観察から、情報を収集する。 3. 患者の療養生活の場としての病床を理解する。 4. 原則に基づいて看護技術を実施する。 5. 正確に報告する。	病院実習
実習 2 週目	1. 個々の患者に適した日常生活援助を実施し、評価・考察を改善に生かす。 2. 毎日の援助に対する患者の反応から、よりよい人間関係を築く。 3. 実習を振り返り、自己の課題を明らかにする。	病院実習

【5】 評価方法

基礎看護実習Ⅱ・Ⅲの到達度基準に沿って、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】 教科書

千葉 京子 他著「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」第7版 メヂカルフレンド社 2025年

【7】 参考書

藤野彰子他 編著「看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年
他、随時指示します。

【8】 受講生へのメッセージ

事前・事後学習をしっかりと行い、実習に臨みましょう。